



連携室だより

● ● ● 目 次 ● ● ●

P1	目次
P2	院長ご挨拶
P3	新任診療部長挨拶
P4-5	高齢者糖尿病患者の治療・介護 に関するセミナー実施報告
P6-8	新任医師のご紹介
P8	退職医師のお知らせ

■理 念

赤十字の基本理念に基づき、個人の尊厳および権利を尊重し、質の高い医療を提供します

■基本方針

1. 患者さまの人権と意思を尊重した病院環境をつくります
2. 急性期医療を中心にして診療を進めます
3. 救急医療の充実に努めます
4. 地域の医療機関等との連携を推進します
5. 国内外の災害時の医療救護活動に貢献します
6. 職員の教育、研修を充実させます
7. 健全経営に留意して、その結果を社会に還元します

■私たちは患者さまの権利を尊重します

1. 適切な医療を受ける権利
2. 医療に関して知る権利
3. 医療行為を自分で選ぶ権利
4. プライバシーを保証される権利
5. 人権を尊重される権利
6. セカンドオピニオンを受ける権利

おかげさまで
創 立 100 周年



院長ご挨拶



旭川赤十字病院 院長 牧 野 憲 一

旭川赤十字病院は今年創立100周年を迎えました。旭川赤十字病院は1915年（大正4年）に日本赤十字社北海道支部仮病院として札幌で誕生しました。その8年後に旭川に移り日本赤十字社北海道支部病院となりました。旭川における本格的な病院の第1号として当時は市民から大変な歓迎を受けました。それ以降、地域医療の為に尽力して参りました。昭和18年に旭川赤十字病院と改称し現在に至っています。旭川赤十字病院はその後に誕生した市立病院や厚生病院などとともに道北地区の医療を支えてきましたが、特に救急医療の分野ではこの地域に欠くことの出来ない存在となりました。現在では道北ドクターヘリの基地病院となるなど道北地区の救急医療の最後の砦としての役割を担っております。

旭川赤十字病院は新たな100年に向けて足を踏み出します。新たな100年でまず取り組むべきことは人類がかって経験したことのない超高齢化社会対応です。この超高齢化社会は医療の変革を求めています。高齢者を地域で支える医療です。多くの疾患を抱える高齢者は、一つの疾患を直しても社会復帰できるとは限りません。継続的な対応が必要です。地域の医療施設、介護施設が協力して対応することが求められます。旭川赤十字病院は救急医療を主体とした高度急性期病院として、新たな地域医療体制の一翼を担ってまいります。このために2つの重点課題を掲げました。まず第一の重点課題は地域連携強化です。地域の医療機関との連携を今まで以上に強化し、患者さんにとっても、地域の連携先医療機関にとっても満足度の高い医療を提供して参ります。第二は高齢者救急対応の強化です。今後、高齢者の救急患者が益々増えると考えられます。独居老人、施設入居老人、老老介護老人などの救急車利用が急速に増えるでしょう。このような高齢者の救急患者の受け入れ態勢を強化し、旭川地区で高齢者の救急難民が発生しないようにすることが目標です。

旭川赤十字病院はこれからも地域の医療機関とともに地域の人々が安心して暮らせる社会づくりに取り組んでまいります。今後とも宜しくお願い申し上げます。

診療科 部長昇任のご挨拶



泌尿器科部長 堀田 裕

資格・認定・指導医等

- 医学博士
- 日本泌尿器科学会認定専門医・指導医
- インфекションコントロールドクター(ICD)
- 日本化学療法学会認定抗菌化学療法指導医
- がん治療認定医
- 日本感染症学会認定感染症指導医
- 泌尿器腹腔鏡技術認定医

20年以上の長きにわたって、主任部長として泌尿器科を引っ張って下さった三宅正文部長が平成27年3月に定年退職され、4月からは私が主任部長を務めさせていただくことになりました。幸い泌尿器科の医師数は今まで同様3人を維持することができ、2人の泌尿器科医とともに新体制で日常診療を行っています。私が当院に勤務してから7年が経ち毎日の診療がややマンネリ化していた感じがありましたが、平均年齢が10歳若返り今まで以上に積極的に新しい知識を取り入れながら今後の医療を行っていくつもりです。

当科で扱う疾患は腎癌、腎盂尿管癌、膀胱癌、前立腺癌といった腎尿路系の癌が半数以上を占めています。それ以外に尿路結石（腎結石、尿管結石、膀胱結石）、急性腎盂腎炎や前立腺炎といった尿路感染症、前立腺肥大症などを多く扱っています。副腎腫瘍、腎癌、腎盂尿管癌に対する手術は、7割以上の症例で腹腔鏡手術を行っており、術後の痛みや入院期間の短縮に寄与しています。現在当科には泌尿器科腹腔鏡技術認定医が私を含めて二名おり、安全に確実に手術を遂行することを心がけ、かつ後進の指導も積極的に行っているところです。尿路結石に対しては軟性尿管鏡とホルミウムレーザーを用いた経尿道的手術を行い結石をゼロにすることを目指しています。尿路感染症の症例には尿培養に加え血液培養を必ず採取し、確実な起炎菌の同定とそれに対する適切な抗菌薬使用を常に心がけています。

当科では昨年1年間で420例ほどの手術を行いました。そのほとんどは旭川市内の開業医の皆様からの紹介患者さんです。常日頃本当に多くの患者さんをご紹介いただいていることをこの場を借りてお礼申し上げます。最近では外来患者数が右肩上がりに増加しており、予約された方でも相当な時間お待たせせざるを得ない状態が続いています。当科に御紹介いただいた患者さんから愚痴の一つもお聞きになるでしょうが、諸事情をご理解いただき今後ご紹介いただきますようよろしくお願い申し上げます。

診療科 部長着任のご挨拶



呼吸器内科部長 北田 順也

資格・認定・指導医等

- 日本内科学会認定内科医
- 日本呼吸器学会呼吸器専門医
- 日本呼吸器内視鏡学会専門医・指導医

この度、2014年4月1日より呼吸器内科に赴任しました北田順也と申します。連携室だよりの場をお借りし、ひと言ご挨拶申し上げます。

私は、2000年に札幌医科大学の47期生として卒業し、札幌医科大学医学部内科学第三講座（現、呼吸器・アレルギー内科学講座）に入局致しました。大学病院での研修を終えた後、道内全域で呼吸器内科医としての診療を主に行って参りました。中には一般内科医として働いた土地もあれば、直近の9年間勤務した札幌医科大学附属病院においては臨床研修センターの助教として研修環境の整備に関した業務を行ったり、講座の助教として研修医や学生と接する機会が多かったりと、様々な経験を積ませて頂くことが出来ました。

また、大学勤務だった時期においては日常診療の傍らではあったものの、各種閉塞性肺疾患におけるImpulse Oscillometryを用いた呼吸抵抗評価に関する研究や、職業性肺疾患、特に過敏性肺炎などに関する研究をさせて頂き、臨床を行っているのみでは発想し得ない研究者の思考回路というものを諸先輩からお教えたことが出来たものと感じており、感謝しております。

長く当院呼吸器科部長をなされておりました本間前部長には私の初めての外勤地でありました当院において14年前にたっぴりと鍛えて頂きました。その時のお教えを礎に現在まで日常診療を続けてきております。

このたび、ご縁がありまして再び旭川の地で勤務させて頂くこととなりました。若輩者でもあり、前部長と同様の働きはすぐには無理かもしれませんが、地域の中核病院として地域の皆様を始め、連携医療機関の皆様からも信頼の厚い当院において、少しでもお役に立つことが出来ます様に日々努めたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

地域医療スキルアップをめざして

～高齢者糖尿病患者の 治療・介護に関するセミナー実施報告～

副院長兼看護部長 児玉 真利子

今年2月、高齢者介護施設職員を対象にしたセミナーを初めて開催しました。当院では、施設等から救急搬送される糖尿病患者が一定の割合で存在することや、森川秋月医師らが行った糖尿病実態調査において施設からの糖尿病に関するセミナー希望の声が多くあったことから今回の開催となりました。

第一部は、当院の医師・看護師による講演、第二部はフリーディスカッションとして日頃疑問に思うことなどを率直に話し合える機会としました。各講師のテーマは下記の通りです（表1）。フリーディスカッションでは、食事摂取状況とインスリン内服薬管理のあり方や具体的なフットケアの方法、認知症糖尿病患者ケアなど高齢者特有の質問・相談が多く出されました。急性期ケアを担う私たちにとっても、入院中にADLや認知機能を低下させないケアの重要性や介護現場での高齢者ケアの難しさを共有し、医療と介護の連携強化の必要性を痛感する有意義な機会となりました。セミナー後のアンケートでは、今後もこのようなセミナー開催の望む声が多くきかれました（図1）。

超高齢社会により疾病は慢性化・複雑化し、多疾患有病者が増加しています。「治す医療から支える医療」へ、「病院完結型から地域完結型」へシフトし、地域包括ケアシステムの構築が急務となっています。地域の中で医療や介護ニーズのある人を支えるネットワークづくりの一步として、今後も医療・介護職員を対象にした「セミナーの開催」や「出前講義」、「事例検討会への参加」などを通して双方向のスキル向上と連携強化を図っていきたいと思います。

当院では現在、2名の専門看護師と11分野20名の認定看護師が在籍しています（別紙）。専門的なケアを学んだ看護師が組織内にとどまることなく、地域医療スキル向上のために協働できたらと考えています。地域の医療・介護施設等の皆様からのご連絡をお待ちしています。

（表1）

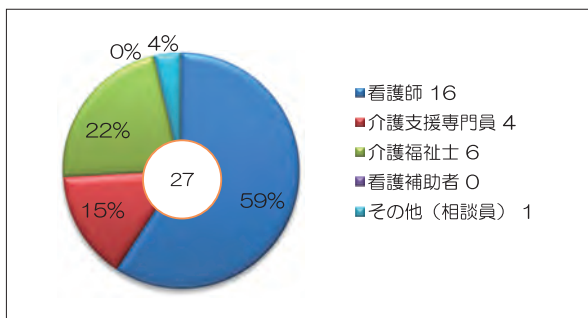
日 時	平成27年2月27日（金曜日）18時から19時30分	
場 所	旭川赤十字病院 2階講堂	
	【第一部：講演】18時～19時	
1.	高齢者糖尿病の特徴と治療の要点	副院長、糖尿病専門医・指導医 森川 秋月
2.	高齢者糖尿病患者の血統管理、特に低血糖について	糖尿病看護認定看護師 池田 早耶香
3.	フットケアの重要性について	糖尿病療養指導士 横堀 洋子
4.	高齢者看護の立場から糖尿病を考える	老人看護専門看護師 高橋 淳子
	【第二部：フリーディスカッション】19時～19時30分	

(図1)

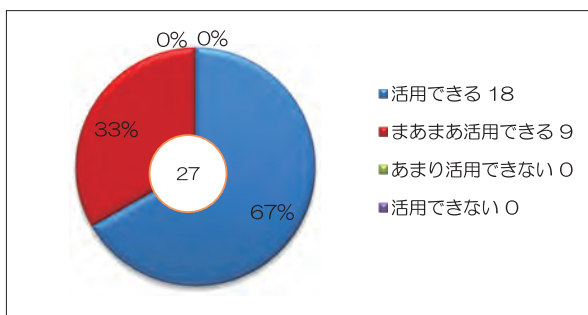
「高齢者糖尿病患者の治療・介護に関するセミナー」終了後アンケート集計結果

◎回答者27名/参加者28名（回収率96.4%）

1. 研修の参加職種



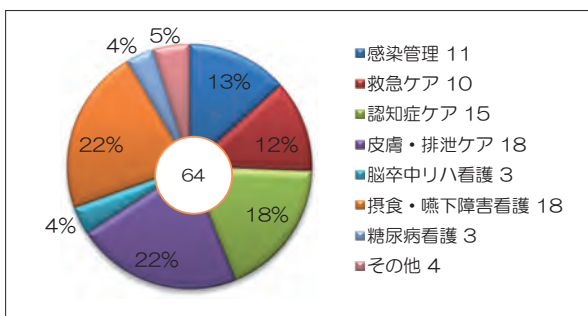
2. 本日の講義は自施設で活用できる内容でしたか？



【意見】

- ・資料が分かりやすいので、持ち帰ってからも読み返しがしやすい。更に根拠含めて介護士に伝えていきやすい。介護士は、看護師に比べ自主的セミナー参加低くレベルアップを図りたい為、介護レベルでのわかりやすさはとても参考になります。
- ・実際に日々たずさわる介護職員さんに対する指導に活かします。
- ・食摂不良時の内服インスリンについて良く分かりました。
- ・具体的な内容だったので現場で実践できそうです。
- ・爪と足のケアは特に細かく勉強になりました。
- ・看護師として介護員に説明、指導できそうです。
- ・一番身近な疾患でありとても参考になりました。ぜひまたお願いします。

3. 今後、受講したい内容がありますか？（複数選択可）



【その他】

- ・フットケアの内容をもう少し深く知りたい
- ・浮腫の原因、対処について
- ・緩和ケア
- ・尊厳のとは何がどのような考え方で支援していけばいいのか

新任医師のご紹介

(平成27年4月付)

質問項目

- ①診療科
- ②取得指導医・専門医等
- ③卒業年度
- ④地域医療機関の先生方へ一言！



シ ミズ タカシ
清水 崇



- ①泌尿器科
- ②日本泌尿器科学会泌尿器科専門医・指導医、がん治療認定医、泌尿器腹腔鏡技術認定医
- ③1998年度
- ④9年ぶりの旭川赤十字病院勤務です。泌尿器科領域でお困りの症例などありましたらご紹介をお願いいたします。

イケハタ ヨシノリ
池端 良紀



- ①泌尿器科
- ②日本泌尿器科学会専門医
- ③2008年度
- ④1年間、旭川の泌尿器科診療へ貢献できる様頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

ウエムラコウ ジ ロウ
上村幸二朗



- ①呼吸器内科
- ③2011年度
- ④よろしくお願い致します。

アラ イ サオリ
荒井 五織



- ①歯科口腔外科
- ②口腔外科学会認定医
- ③2007年度
- ④お世話になるのは今回で二回目になります。前回は4年目から2年3ヶ月お世話になりました。以前にお世話になった先生方や外来、病棟のスタッフとの交流もできて嬉しく思っております。これからも皆さんにお世話になりますので宜しくお願い申し上げます。

マツ ダ シンヤ
松田 真也



- ①歯科口腔外科
- ③2009年度
- ④患者さんのため一生懸命がんばります。御迷惑おかけいたしますが宜しくお願い致します。

シモヤマ サ オリ
下山紗央莉



- ①血液・腫瘍内科
- ③2012年度
- ④血液腫瘍内科の医師としての経験は浅いですが、日々勉強させていただいております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

ハ ヤマ ヨウ コ
葉山 洋子



- ①麻酔科
- ②麻酔科標榜医・麻酔科認定医
- ③2009年度
- ④はじめまして。昨年は市立旭川病院勤務でした。よろしくお願いします。

カク ミツノリ
郭 光徳



- ①麻酔科
- ②麻酔科標榜医
- ③2010年度
- ④主に手術室や集中治療室、救急外来で働いております。地域の皆様にお役に立てますよう尽力したいと思います。よろしくお願い致します。

オオ ノ ショウ
大野 翔



- ①麻酔科
- ②日本周術期経食道心エコー認定医
- ③2011年度
- ④不慣れなことも多く、ご迷惑をおかけしますが、精一杯がんばりますので、宜しくお願い申し上げます。

イハラ サキ
伊原 彩季



- ①麻酔科
- ③2011年度
- ④よろしくお願いします。

カミヤマ ナオユキ
神山 直之



- ①循環器内科
- ③2011年度
- ④医師4年目です。まだまだ未熟ですが、よろしくお願い申し上げます。

キムラ コキシゲ
木村 幸滋



- ①腎臓内科
- ②日本内科学会認定医
- ③2009年度
- ④精一杯頑張ります。宜しくお願いいたします。

ナガヌマ リョウジ
長沼 亮滋



- ①神経内科
- ③2011年度
- ④一生懸命勉強させていただきます。

キツナイ ヒロヤ
橋内 博哉



- ①糖尿病・内分泌内科
- ②医学博士
- ③2006年度
- ④旭川赤十字病院の橋内です。3月まで恵庭市の恵み野病院で勤務していました。糖尿病を中心として内科を診ています。宜しくお願い申し上げます。

ヒロノ ユカ
廣野 由佳



- ①整形外科
- ②日本整形外科学会 専門医
- ③2005年度
- ④いつも患者様の御紹介ありがとうございます。

ミヤサカ ダイスケ
宮坂 大介



- ①外科
- ②日本外科学会専門医、日本消化器病学会専門医、日本消化器外科学会専門医、日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医、日本内科学会認定内科医、日本食道学会食道科認定医、日本乳癌学会認定医、精中委マンモグラフィ読影医
- ③1998年度
- ④北見赤十字病院より参りました。旭川は初めてなので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

タカノ ヒロノブ
高野 博信



- ①外科
- ②日本外科学会専門医
- ③2007年度
- ④宜しくお願いします。

タケウチ ユウタ
武内 優太



- ①外科
- ③2012年度
- ④よろしくお願いします。

サワヤ リョウスケ
澤谷 亮佑



- ①臨床研修医
- ③2013年度
- ④北大病院の協力型で参りました。何卒よろしくお願いいたします。

アオヤギ ヒロユキ
青柳 裕之



- ①臨床研修医
- ③2014年度
- ④精一杯頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

キシ カズマ
岸 法磨

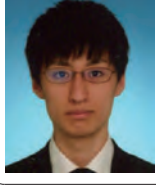


- ①臨床研修医
- ③2014年度
- ④北海道大学医学部卒の岸 法磨と申します。至らない点も多いとは思いますが、一生懸命がんばりますので、ご指導の程宜しくお願いします。

キムラ ヒロユキ
木村 弘幸



- ①臨床研修医
- ③2014年度
- ④江別市出身です。まだまだ未熟者ではありますが、精一杯頑張ります。宜しくお願いいたします。

コバヤシ ユウヤ 小林 祐也 	①臨床研修医 ③2014年度 ④旭川医科大学出身の小林と申します。2年間の研修期間で様々なこと吸収し、少しでもお役にたてるよう頑張りたいと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。
サイトウ ハルカ 齊藤はるか 	①臨床研修医 ③2014年度 ④皆様には多大なご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、精一杯頑張りますので、どうぞ指導・鞭撻の程よろしくお願い致します。
タニグチ リョウノスケ 谷口龍之助 	①臨床研修医 ③2014年度 ④至らない点も多いと思いますが、一生懸命頑張りますのでよろしくお願いいたします！
ニシムラ トモヤ 西村 朋也 	①臨床研修医 ③2014年度 ④少しでもお役に立てるよう精一杯がんばります。よろしくお願いいたします。
マエダ タクマ 前田 拓真 	①臨床研修医 ③2014年度 ④札幌医大から参りました前田拓真です。脳外科医を目指して2年間頑張ります、よろしくお願い致します。
マルオ ユウジ 丸尾 優爾 	①臨床研修医 ③2014年度 ④皆様のお役に立てるように精一杯頑張ります。何卒宜しくお願いいたします。
ヨナグチ ショウイ 米内口正一 	①臨床研修医 ③2014年度 ④皆様のお役に少しでも立てるように頑張ります。よろしくお願いいたします。
シゲマツ コウスケ 重松 祐輔 	①臨床研修医 ③2014年度 ④研修1年目の重松祐輔です。出身地は長崎県で出身大学は久留米大学です。協力型で1年間お世話になりますので、よろしくお願い致します。
ワダ リナ 和田 莉奈 	①臨床研修医 ③2014年度 ④臨床研修1年目の和田莉奈と申します。 北大病院との協力型で1年間お世話になります。日々一生懸命がんばります。よろしくお願いいたします。
オガワ ヒロシ 小川 仁 	①臨床研修医 ③2014年度 ④ご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。

退職医師のお知らせ

氏名	診療科		氏名	診療科	
三宅 正文	泌尿器科(診療部長)	平成27年3月31日付	佐々木夢美	麻酔科	平成27年3月31日付
本間 昭彦	呼吸器内科(診療部長)	平成27年4月30日付	舘越 勇輝	循環器内科	平成27年3月31日付
嶋津 真史	歯科口腔外科(診療部長)	平成27年3月31日付	能登 貴弘	腎臓内科	平成27年3月31日付
宮本慎太郎	泌尿器科	平成27年3月31日付	河端 聡	神経内科	平成27年3月31日付
松本紗弥佳	歯科口腔外科	平成27年3月31日付	新井 美成	糖尿病・内分泌内科	平成27年3月31日付
舘越 鮎美	血液・腫瘍内科	平成27年3月31日付	佐藤 剛	整形外科	平成27年3月31日付
大曾根順平	麻酔科	平成27年3月31日付	佐々木剛志	外科	平成27年3月31日付
林 温子	麻酔科	平成27年3月31日付	横山 啓介	外科	平成27年3月31日付
澤下 泰明	麻酔科	平成27年3月31日付			

発行／旭川赤十字病院
地域医療連携室

〒070-8530
旭川市曙1条1丁目1番1号
TEL:0166-22-8111(代表)
FAX:0166-22-8287(直通)
E-mail:renkei@asahikawa.jrc.or.jp